

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ 設置者	カクヨウホジシツ ナガハラガクエン 学校法人 永原学園									
フリガナ 大学の名称	ニシキョウシユウダク イカクダクイブ 西九州大学大学院（Graduate School of Nishikyushu University）									
大学本部の位置	佐賀県神埼市神埼町尾崎4490-9									
大学の目的	大学院は、西九州大学の建学の精神に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、社会に貢献し、文化の進展と健康・福祉の向上に寄与する人材を育成することを目的とする。									
新設学部等の目的	臨床心理学博士後期課程は、地域社会で生活する人々の様々な心理的な問題に対応しうる臨床心理学研究者及び高度教育機関等において専門性の高い臨床心理学実践の指導を行える心理臨床家を養成することを目的とする。									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	開設時期及 び開設年次	所在地		
	生活支援科学研究科 〔Graduate school of Human Care Sciences〕	年	人	年次 人	人		令和 年 月 第 年次	佐賀キャンパス 佐賀県佐賀市神園 3丁目18番15号		
	臨床心理学専攻 〔Master's Course in Degree Program in Clinical Psychology〕 博士後期課程 〔Doctor's Course of Clinical Psychology〕	3	2	—	6	博士 (臨床心理学) Doctor of Clinical Psychology	令和6年4月 第1年次			
計			—							
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	令和6年4月名称変更予定 生活支援科学研究科臨床心理学専攻（修士課程） →同研究科臨床心理学専攻（博士前期課程） 生活支援科学研究科スポーツ科学専攻（修士課程）（2）（令和5年3月認可申請） 生活支援科学研究科保健医療学専攻（博士後期課程）（2）（令和5年3月認可申請）									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数			
	生活支援科学研究科 臨床心理学専攻博士後期課程	講義	演習	実験・実習	計					
		3 科目	3 科目	科目	6 科目	16 単位				
新設分	学部等の名称		専任教員等					兼任 教員等		
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	生活支援科学研究科 臨床心理学専攻 (博士後期課程)		4人 (4)	1人 (1)	0人 (0)	0人 (0)	5人 (5)	0人 (0)	6人 (6)	令和5年3月課程変更 認可申請
	生活支援科学研究科保健医療学専攻 (博士後期課程)		11 (11)	9 (9)	4 (4)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	6 (6)	令和5年3月認可申請
	生活支援科学研究科 スポーツ科学専攻 (修士課程)		5 (5)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	8 (8)	令和5年3月認可申請
計		20 (20)	14 (14)	6 (6)	0 (0)	40 (40)	0 (0)	— (—)		

既設分	生活支援科学研究科 臨床心理学専攻 (修士課程)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	15 (15)	修士課程を博士前期課程 に名称変更届出(予定)	
	生活支援科学研究科 リハビリテーション学専攻 (修士課程)	9 (9)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	6 (6)		
	生活支援科学研究科 子ども学専攻 (修士課程)	7 (7)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	14 (14)		
	生活支援科学研究科 看護学専攻 (修士課程)	6 (6)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	16 (16)		
	生活支援科学研究科 健康福祉学専攻 (博士前期課程)	9 (9)	6 (6)	2 (2)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	12 (12)		令和5年4月名称変更
	生活支援科学研究科 健康福祉学専攻 (博士後期課程)	11 (11)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	3 (3)		令和5年4月名称変更
	生活支援科学研究科 栄養学専攻 (博士前期課程)	8 (8)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	5 (5)		
	生活支援科学研究科 栄養学専攻 (博士後期課程)	9 (9)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	6 (6)		
	計	62 (62)	30 (30)	11 (11)	0 (0)	104 (104)	0 (0)	- (-)		
合計	82 (82)	44 (44)	17 (17)	0 (0)	144 (144)	0 (0)	- (-)			
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計		大学全体		
	事務職員	50 人 (50)		0 人 (0)		50 人 (50)				
	技術職員	0 (0)		0 (0)		0 (0)				
	図書館専門職員	2 (2)		0 (0)		2 (2)				
	その他の職員	0 (0)		0 (0)		0 (0)				
	計	52 (52)		0 (0)		52 (52)				
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		西九州大学短期大 学部(必要面積3,8 00㎡)と共用 借用面積3971.07㎡ 借用期間:30年		
	校舎敷地	39,878 ㎡	14,833 ㎡	0 ㎡		54,711 ㎡				
	運動場用地	18,813 ㎡	7,630 ㎡	0 ㎡		26,443 ㎡				
	小 計	58,691 ㎡	22,463 ㎡	0 ㎡		81,154 ㎡				
	その他	65,243 ㎡	3,869 ㎡	0 ㎡		69,112 ㎡				
合計	123,934 ㎡	26,332 ㎡	0 ㎡		150,266 ㎡					
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用		計		西九州大学短期大 学部(必要面積3,9 00㎡)と共用			
	29,227 ㎡ (29,227 ㎡)	19,392 ㎡ (19,392 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)		48,619 ㎡ (48,619 ㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設		大学全体		
	50 室	69 室	44 室	4 室 (補助職員 3人)		1 室 (補助職員 0人)				
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数						
		生活支援科学研究科臨床心理学専攻博士後期課程		5 室						
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点			
	生活支援科学研究科 臨床心理学専攻博士後 期課程	13,652 [650] (13,252 [618])	39 [0] (39 [0])	3 [2] (3 [2])	860 (860)	1,217 (1,217)	0 (0)			
	計	13,652 [650] (13,252 [618])	39 [0] (39 [0])	3 [2] (3 [2])	860 (860)	1,217 (1,217)	0 (0)			
図書館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数				大学全体		
	1,960 ㎡	283 席		204,000 冊						
体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						大学全体		
	3,267 ㎡	トレーニングセンター 242㎡	テニスコート 2面	多目的コート 1面	弓道場 89㎡					
経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	教員1人当り研究費等		100千円	100千円	100千円					
	共同研究費等		千円	千円						
	図書購入費	500千円	500千円	500千円	0千円					
	設備購入費	1200千円	50千円	0千円	0千円					
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	810千円	610千円	610千円	-千円	-千円	-千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常経費補助金、雑収入等								

大学の名称	西九州大学									
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	健康栄養学部 健康栄養学科	4	120	—	480	学士 (健康栄養学)	0.77 0.77	平成 26年度	神埼キャンパス 佐賀県神埼市 神埼町尾崎 4490番地9	
	健康福祉学部 社会福祉学科	4	80	3年次 10	340	学士 (社会福祉学)	0.67 0.50	昭和 49年度		
	スポーツ健康福祉学科	4	50	—	200	学士 (スポーツ健康福祉学)	0.95	平成 26年度		
	リハビリテーション学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻	4	40	—	160	学士 (理学療法学)	0.77 0.77	平成 19年度		
		作業療法学専攻	4	40	—	160	学士 (作業療法学)			0.56
	子ども学部 子ども学科	4	80	3年次 10	340	学士 (子ども学)	1.09 1.06	平成 21年度	佐賀キャンパス 佐賀県佐賀市神園 3丁目18番15号	
	心理カウンセリング学科	4	40	—	160	学士 (臨床心理学)	1.16	平成 26年度		
	看護学部 看護学科	4	90	—	360	学士 (看護学)	1.06 1.06	平成 30年度	小城キャンパス 佐賀県小城市小城 町176番地27	
	大学院 生活支援科学研究科									
	栄養学専攻 博士前期課程	2	2	—	4	修士 (栄養学)	1.07 0.25	平成 26年度	神埼キャンパス 佐賀県神埼市神園 町尾崎4490番地9	
		3	2	—	4	博士 (栄養学)	1.00	令和 4年度		
	地域生活支援学専攻 博士前期課程 地域生活支援学専攻	2	5	—	10	修士 (生活支援学)	1.20	平成 27年度		
		3	3	—	9	博士 (生活支援学)	1.11	平成 27年度		
	博士後期課程	2	3	—	6	修士 (リハビリテーション学)	1.33	平成 26年度		
	臨床心理学専攻	2	5	—	10	修士 (臨床心理学)	1.60	平成 26年度	佐賀キャンパス 佐賀県佐賀市神園 3丁目18番15号	
	子ども学専攻	2	3	—	6	修士 (子ども学)	0.66	平成 27年度		
	看護学専攻	2	5	—	10	修士 (看護学)	0.60	令和 4年度	小城キャンパス 佐賀県小城市小城 町176番地27	
	既設大学等の状況	大学の名称	西九州大学短期大学部							
		学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
			年	人	年次人	人		倍		
地域生活支援学科	2	100	—	200	短期大学士 (地域生活支援学)	0.79	平成29 年度	佐賀キャンパス 佐賀県佐賀市神園 3丁目18番15号		
幼児保育学科	2	90	—	180	短期大学士 (保育学)	0.82	昭和 40年度			
附属施設の概要	該当なし									

教 育 課 程 等 の 概 要															
(生活支援科学研究科臨床心理学専攻博士後期課程)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	専門教育科目 ブレFD：大学教育実践プログラム	1・2・3後		1		○									兼6 オムニバス
	臨床研究	1通		4		○			4	1					オムニバス
	実践臨床研究	2通		4		○			4	1					オムニバス
研究指導科目	臨床心理学研究演習Ⅰ	1通	4				○		4	1					
	臨床心理学研究演習Ⅱ	2通	4				○		4	1					
	臨床心理学研究演習Ⅲ	3通	4				○		4	1					
合計（6科目）		—	12	9	0				4	1	0	0	0	兼6	
学位又は称号	博士（臨床心理学）		学位又は学科の分野				文学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
「臨床心理学研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の12単位を必修とする。その他、臨床研究科目より1科目4単位以上を履修し、合計16単位以上を修得すること。かつ、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。								1学年の学期区分				2期			
								1学期の授業期間				15週			
								1時限の授業時間				90分			

授 業 科 目 の 概 要			
（生活支援科学研究科 臨床心理学専攻博士後期課程）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専 門 教 育 科 目	プレFD：大学教育実践プログラム	<p>大学教育が多様化する中において、大学等の教員には、教育の能力および業績も問われるようになってきている。教員の公募書類にシラバス案提出を求めたり、面接時に模擬授業の実施が増えてきている。また、昨今の大学の授業は、学生の学びをより一層重視するようになってきた。教員は、知識を提供するだけでなく、学生の学びに焦点をあてて、学びを促進するファシリテーターとしての役割も求められている。これらの能力をより体系的・効果的に修得する授業が「大学教育実践プログラム」である。</p> <p>この授業では、将来、大学等で教員としてのキャリアを選択しようとする大学院生が、授業を担当するために必要な授業デザイン、シラバス、評価方法などを学ぶ。</p> <p>（オムニバス方式／全8回）</p> <p>（6 管原 正志 / 2回） 大学教育の現在とシラバスの書き方について講義する。最終回においては、全講義を通したまとめと振り返りを行う。</p> <p>（9 井本 浩之 / 1回） 学習評価とルーブリックについて講義する。</p> <p>（8 田中 豊治 / 1回） 多様な教育技法と動機づけについて講義する。</p> <p>（10 山田 力也 / 1回） 授業デザインや授業計画書の書き方について講義する。</p> <p>（11 山口 裕嗣 / 1回） 多様な教育技法と動機づけについて講義する。</p> <p>（7 橋本 健夫 / 2回） 受講者は模擬授業や遠隔授業を実践し、授業改善を通して、授業デザインや教授方法などについての学びを深める。</p>	オムニバス方式

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
臨床 研究 科目	臨床研究	<p>学校教育、心理臨床、医療・福祉等の分野において直面している諸問題「不登校」や「いじめ」「精神疾患」に加えて、「虐待」「セクシュアル・マイノリティ」や「発達障害」などの支援についての実際を具体的に幅広く検討すると共に、そうした課題の背後にある深層心理学的な側面について、研究者として関わることの意味を深く検討する。</p> <p>(オムニバス方式／全30回)</p> <p>(4 高尾 兼利／6回) 学校教育・幼児教育・乳幼児保育の分野で起きてくる「困難」に関連する要因を心理社会的視点から検討する。特に対人関係の詳細を重層的にとらえ、浮かび上がる困難の複合の理解を試みる。</p> <p>(1 西村 喜文／6回) 傷ついた子ども達（児童虐待等）への心理的支援について心理的傷つき、人間関係の希薄化、家族機能の不全感、安心・安全感の崩壊等の視点より問題提示し心理的支援のあり方について理解を深める。</p> <p>(3 安藤 満代／6回) 医療分野において精神疾患患者、慢性期疾患をもつ患者、終末期医療を受ける患者と家族が直面する諸問題に対して、意識と無意識も含めた心理的支援の理論や方法について広く先行研究や事例研究を含めて検討していく。</p> <p>(2 岡嶋 一郎／6回) 福祉・保健分野で直面する「健康」「障害」「ストレス」と心理・生活との関係や、生物・心理・社会モデルに基づいた問題分析ないし支援策の構築について検討する。</p> <p>(5 赤川力／6回) 様々な臨床現場における臨床事例について、検討していく。具体的には、産業臨床、特別支援学校臨床、私設カウンセリング、発達障害外来臨床などにおける臨床事例研究である。</p>	オムニバス方式

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
臨床 研究 科目	実践臨床研究	<p>心理臨床実践に求められるクライアント個人や家族、集団の見立ての技術を磨くために、精神分析理論、ユング心理学、表現療法（芸術療法）、アクションメソッドなどの臨床的応用と研究的応用について論じ人間理解を深める。臨床面では、個人心理療法はもとより、グループ、組織への介入、子どもの心理療法への活用について、研究面では、心理査定を出発点として、さまざまな調査・研究への活用の可能性を追究する。</p> <p>(オムニバス方式／全30回)</p> <p>(4 高尾 兼利／6回) 心理療法としての精神分析理論の全体を理解した上で、対人関係精神分析の特性を理解する。対人関係精神分析に基づいて心理臨床の実践を重ねる。実践の過程を考察し、検討を重ねる。</p> <p>(1 西村 喜文／6回) 遊戯療法論 本講座では、子どもが遊びにおいて表現しているものを真摯に受け取る専門性が磨かれることを目指し、遊びの意義や本質、子どもとセラピストとの関係などについて触れていきたい。さらに、遊戯療法の理論について、精神分析理論、ユング心理学、子ども中心療法の観点からも捉え、遊戯療法における言葉、遊びによるイメージ表現や象徴、子どもとの関係について理解を深める。</p> <p>(3 安藤 満代／6回) 医療分野において、病を持つ患者と家族の精神的・心理的苦痛、スピリチュアルな苦痛を心理支援者が理解し、ナラティブ・アプローチや芸術療法を用いて実践研究に結び付ける。</p> <p>(2 岡嶋 一郎／6回) 体験治療論や役割理論の観点に基づく個人や集団の見立て、及び動作法や心理劇などのアクションメソッドに基づく心理臨床実践について検討する。</p> <p>(5 赤川 力／6回) 様々な臨床現場にて用いられている技法を通して、研究を深めていく。具体的には、投影法であるバウムテスト、描画法であるスキュグル、MSSMなどを用いた実践的研究を検討していく。</p>	オムニバス方式

授 業 科 目 の 概 要			
（生活支援科学研究科 臨床心理学専攻博士後期課程）			
科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指 導 科 目	臨床心理学研究演習Ⅰ	<p>（概要） 博士論文作成のための研究テーマの設定と研究方法の選定に焦点をあてた演習を行う。学生の設定したテーマに関連する国内外の臨床心理学研究成果を総括し、問題点を明確化する。そして、それら問題点の解明に資する実証的研究の計画を立案する。</p> <p>（1 西村 喜文） 博士論文作成のための研究計画の立案、文献レビュー、調査等の準備及び実施、など各研究テーマに沿った展開を行う。特に、ユング理論に基づいた表現療法について理解を深めていく。</p> <p>（2 岡嶋 一郎） 博士論文作成のための研究テーマの設定と研究方法の選定に焦点をあてた演習を行う。特に、健康や福祉に関する支援や現代社会で起こっている課題について理解できるようにする。</p> <p>（3 安藤 満代） 博士論文作成のための研究テーマの設定と研究方法の選定に焦点をあてた演習を行う。特に芸術療法を活用した心理学的支援法（回想法、ナラティブ・アプローチ、マインドフルネス）について理解できるようにする。</p> <p>（4 高尾 兼利） 博士論文作成のための研究テーマの設定と研究方法の選定に焦点をあてた演習を行う。特に学校教育で解決すべき課題となっている児童生徒の不適応行動について臨床心理学の視点から広く理解できるようにする。これに並行して、不適応行動に対する心理的支援として、精神分析療法、中でも対人関係精神分析療法について理解できるようにする。</p> <p>（5 赤川力） 博士論文作成のための研究テーマの設定と共に、先行研究を概観する。文献から課題等を見出し、博士論文作成に向けて、研究計画を立案し、倫理審査に向けて進める。特に、表現療法（箱庭療法、絵画療法等）を中心として技法について理解ができるようにする。</p>	

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究指導科目	臨床心理学研究演習Ⅱ	<p>(概要) 博士論文研究の進行にそって、研究資料の分析に焦点をあてて演習を行う。さまざまな過程を経て整理した調査研究を先行研究の成果と比較照合し、研究計画で設定した問題について理論的検証を加え、成果を学会発表論文にまとめる。</p> <p>(1 西村 喜文) 博士論文研究の進行にそって、研究資料の分析に焦点をあてて演習を行う。心理療法においても重要なイメージについて理解を深めイメージそのものが治療媒体となる表現療法（箱庭療法、コラージュ療法、描画療法等）についての研究を大きな柱としてすすめていく。</p> <p>(2 岡嶋 一郎) 博士論文研究の進行にそって、研究資料の分析に焦点をあてて演習を行う。健康や福祉に関する支援や現代社会で起こっている課題に対して、アクションメソッドの技法の観点から探求や解決を志向する研究を主なテーマとする。</p> <p>(3 安藤 満代) 博士論文研究の進行に沿って、研究資料の収集と分析に焦点をあてた演習を行う。病をもつ患者や障がいをもつ方に、語り（ナラティブ）や表現療法の技法を活用して、生きる意味やスピリチュアリティを支援することの研究を主なテーマとする。</p> <p>(4 高尾 兼利) 博士論文研究の進行にそって、研究資料の分析に焦点をあてて演習を行う。児童生徒の不適応行動の中でも、「いじめ問題」や「不登校問題」など、特定の解決すべき課題を選択し、選択した課題を有する児童生徒に対して対人関係精神療法を活用して、不適応問題の解決を支援する。このことを主な研究テーマとする。</p> <p>(5 赤川力) 博士論文研究の進行にそって、臨床的研究と共に実証的研究を進める。研究会や学会等にて発表し、論文にまとめる作業を行う。引き続き、表現療法（箱庭療法、絵画療法等）を中心として技法について理解を深める。</p>	

科目 区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
研究 指 導 科 目	臨床心理学研究演習Ⅲ	<p>(概要) 本調査の研究資料の分析結果を整理して総合的に考察する。新たな仮説や問題点についても言及し、本研究の理論的整合性、資料の妥当性および結論の臨床的妥当性、内外の諸研究との関連を総合的に検討し、博士論文の形式にまとめる。</p> <p>(1 西村 喜文) 調査研究の研究資料の分析結果を整理して総合的に考察を進めていく。さらに、新たな仮説や問題点についても言及し、研究の理論的整合性、資料の妥当性及び理論の臨床的妥当性、内外の諸研究との関連を総合的に検討し博士論文としてまとめる。</p> <p>(2 岡嶋 一郎) 健康や福祉に関する支援や現代社会で起こっている課題に関する文献研究、アクションメソッドによる実験研究、臨床事例研究の成果を総合的に考察し、博士論文の形式にまとめる。</p> <p>(3 安藤 満代) ナラティブ、回想法、マインドフルネス、精神障がい等に関連する本調査の研究資料の分析結果を整理して、総合的に考察し、博士論文の形式にまとめる。</p> <p>(4 高尾 兼利) 「いじめ問題」「不登校問題」など、選択した特定の学校教育上の課題、及びこれに対する対人関係精神分析療法の活用について、本調査の研究資料の分析結果を整理して総合的に考察し、博士論文の形式にまとめる。</p> <p>(5 赤川力) これまでの研究の成果を学会発表や論文投稿を行う。学会発表等にて得られた知見等を論文に反映させる。そして、博士論文にまとめる作業を行う。</p>	

学校法人永原学園 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
西九州大学				西九州大学				
健康栄養学部				健康栄養学部				
健康栄養学科	120	-	480	健康栄養学科	120	-	480	
				【30】			【120】	デジタル社会共創学環に係る内数
健康福祉学部				健康福祉学部				
社会福祉学科	80	10	340	社会福祉学科	80	10	340	
		3年次		【30】			【120】	デジタル社会共創学環に係る内数
スポーツ健康福祉学科	50	-	200	スポーツ健康福祉学科	50	-	200	
リハビリテーション学部				リハビリテーション学部				
リハビリテーション学科				リハビリテーション学科				
理学療法学専攻	40	-	160	理学療法学専攻	40	-	160	
作業療法学専攻	40	-	160	作業療法学専攻	40	-	160	
子ども学部				子ども学部				
子ども学科	80	10	340	子ども学科	80	10	340	
心理カウンセリング学科	40	-	160	心理カウンセリング学科	40	-	160	
看護学部				看護学部				
看護学科	90	-	360	看護学科	90	-	360	
				<u>デジタル社会共創学環</u>	<u>60</u>	-	<u>240</u>	学部等連係課程実施基本組織の設置(届出)
(計)	540	20	2,200	(計)	540	20	2,200	
西九州大学大学院				西九州大学大学院				
生活支援科学研究科				生活支援科学研究科				
栄養学専攻(M)	2	-	4	栄養学専攻(M)	2	-	4	
栄養学専攻(D)	2	-	6	栄養学専攻(D)	2	-	6	
臨床心理学専攻(M)	5	-	10	臨床心理学専攻(M)	5	-	10	名称の変更(届出)
				<u>臨床心理学専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	課程の変更(認可申請)
リハビリテーション学専攻(M)	3	-	6	リハビリテーション学専攻(M)	3	-	6	
子ども学専攻(M)	3	-	6	子ども学専攻(M)	3	-	6	
健康福祉学専攻(M)	5	-	10	健康福祉学専攻(M)	5	-	10	
健康福祉学専攻(D)	3	-	9	健康福祉学専攻(D)	3	-	9	
看護学専攻(M)	5	-	10	看護学専攻(M)	5	-	10	
				<u>スポーツ科学専攻(M)</u>	<u>2</u>	-	<u>4</u>	専攻の設置(認可申請)
				<u>保健医療学専攻(D)</u>	<u>2</u>	-	<u>6</u>	専攻の設置(認可申請)
(計)	28	-	61	(計)	<u>34</u>	-	<u>77</u>	
西九州大学短期大学部				西九州大学短期大学部				
地域生活支援学科	100	-	200	地域生活支援学科	100	-	200	
幼児保育学科	90	-	180	幼児保育学科	90	-	180	
(計)	190	-	380	(計)	190	-	380	